

【基本施策】

18. 情報発信を充実する

【基本方針】

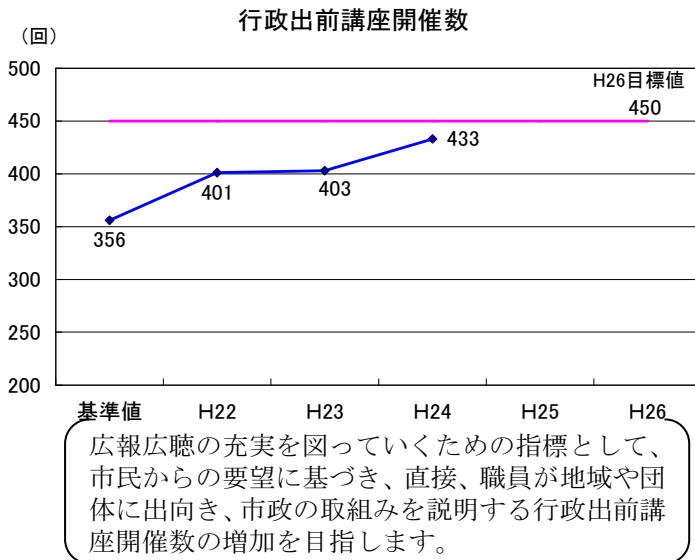
市民参加と協働のまちづくりを進めるためにも、市民に分かりやすく親しみやすい広報誌やホームページづくりに努めるとともに、CATVやFM放送などのメディア等も活用し、市民が必要とする情報の提供に努めます。

また、市民との直接対話を通して市政の取組み等の情報を周知するとともに、行政の取組みや市民の要望に関する意見交換等を行う市長と語り合う会、市民とのふれあい談論や行政の施策などを説明に出向く行政出前講座など、広報広聴活動の充実に努めます。

【実施施策】

- ◇広報広聴の充実
- ◇分かりやすい情報提供

【施策成果指標】



【構成事務事業の達成ランクおよび方向性】

基本施策	構成事務事業の状況											
	H24 ランク				H26 方向性							
	A	B	C	小計	事務改善	内容拡大	内容縮小	維持	終了	廃止休止	統合	小計
情報発信を充実する	7	0	2	9	0	0	0	9	0	0	0	9
広報広聴の充実	6	0	1	7	0	0	0	7	0	0	0	7
分かりやすい情報提供	1	0	1	2	0	0	0	2	0	0	0	2

これまでの取組み成果

広報さばえなどの紙媒体による広報やケーブルテレビ、FM放送などのテレビ・ラジオを活用した広報を展開し、ツイッターやフェイスブックなどの電子媒体での広報活用にも取り組んだ。

併せて、市民に行政出前講座を活用するよう広報に努めるとともに、各種団体での会合の中で、市長が市政の現状を報告する機会を数多く持った。

また、市長と語り合う会を 10 地区で開催したほか、市長への手紙やメール、ご意見箱による広聴を展開した。

<平成 24 年度実績>

○市政情報の視聴率等

- ・広報さばえ 89% ・ケーブルテレビ 35% ・FM放送 15%
- ・ホームページアクセス数（トップページ）53,734回/月

○行政出前講座開催回数 433件

○市長と語り合う会参加者数 417人

今後の課題

従来からの紙媒体やテレビ・ラジオによる広報に加えて、ツイッターやフェイスブックなどの電子媒体を活用した広報を広げる必要がある。

また、新聞やテレビなどのメディアに取り上げてもらうための情報提供に工夫が必要である。

行政の情報は財政状況や支援制度の説明など、なじみにくいものでも公表する必要があり、難しくなりがちである。

市が出前講座させていただきたい項目（防災マップやごみ減量化など）が市民が求めるものと一致するかどうか問題となる。

幅広い世代からの意見を聴き取る仕組みづくりが必要であり、また、市民からのご意見はほとんどが要望であり、前向きな意見や提言をどう探していくかが課題である。

今後の施策展開

市民主役のまちづくりを進める上でも、市民にわかりやすく親しみやすい広報紙による情報の提供に努めるとともに、メディアや電子媒体の活用をより一層進める。

また、出前講座の内容を広く市民に広報し、市がお知らせしたい項目を市民に伝わるようにする。

市民と市長が対談する機会を多く持つとともに、職員一人ひとりが市民と活動を共にする中で市政への意見を広く伺う。

【総合評価】

A 政策目標に向けて高いレベルで推移している。

B 政策目標に向けて概ね順調であるが、一部努力を要する。

C 政策目標に向けてあまり順調ではなく、一層の努力が必要である。

D 政策目標の達成には程遠く、全体的な努力が必要である。

〈H24 総合評価：A〉